

## TOPPAN FORMS BUSINESS REPORT

# 第53期 事業のご報告(年次)

平成18年4月1日～平成19年3月31日

証券コード 7862

**TOPPAN FORMS**

## 市場の変化を的確にとらえ、新規市場の開拓と成長分野への重点投資を一層強化してまいります。



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第53期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景として、堅調な設備投資や雇用環境の改善などにより、緩やかな成長を維持しました。

ビジネスフォーム業界におきましては、IT化による需要量の減少や競争激化による価格の下落に加え、用紙

価格の高騰などにより、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは、ビジネスフォームおよびデータ・プリント・サービス(DPS)製品の改良開発や、ICタグなどデジタル関連システムの実用化に積極的に取り組み、情報管理の総合的なサービス体制の充実をはかりました。また、顧客志向の姿勢を徹底して企画提案型の販売活動を展開するとともに、新規市場の開拓と、グループ企業を含めた製造体制の効率化に取り組み、競争力の強化につとめました。

主な事業展開といたしましては、ビジネスフォーム分野におきまして、環境保護に適應した素材開発や、プリンターの高速化に対応した製品の開発などを推進いたしました。

DPS分野におきましては、カラー化やパーソナル化などニーズの高度化に対応して最新設備を増強したほか、個人情報保護に関する品質保証体制をさらに充実いたしました。また、金融業界をはじめとした業務のアウトソーシング化に即応するため、工場の拡張など受託体制の強化をはかりました。

電子メディア分野におきましては、ICタグ関連に注力し、文書管理パッケージやネットワークに直結できるリーダーライターなど、実用レベルの開発をおこないました。また、用途に応じた高機能製品のラインナップ拡充

と、量産化に向けた生産設備の増強をおこないました。

環境問題への対応につきましては、川本工場と神戸工場があらたに「ISO14001」の認証を取得するとともに、生産拠点を中心に環境マネジメントシステム(EMS)を運用し、環境負荷低減に向けて改善活動を実施いたしました。

また、個人情報保護に関しましては、個人情報取扱事業者として経営の最重要課題ととらえ、専門部署による当社グループ全体の管理体制を整備し、その機能の強化につとめました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループ売上高は、2,191億円(前期比3.2%増)、経常利益は172億円(前期比4.2%増)、当期純利益は96億円(前期比3.1%増)となりました。

なお、期末配当金につきましては、1株につき13円とし、年間配当金は1株につき25円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、国内外の需要拡大や好調な企業収益などにより、持続的な成長が期待されますが、米国経済の不透明感や円高の懸念、環境およびセキュリティに対する社会的責任の増大など、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

ビジネスフォーム業界におきましても、IT化の進展による印刷需要の減少に加え、個人情報保護にかかるセキュリティコストの増加が見込まれ、引き続き経営環境は厳しいものと考えられます。

このような状況をふまえ当社グループは、市場や社会の変革を的確にとらえ、ニーズに対応した製品やサービスの改良開発とソリューション提案の充実により、情報管理の総合的なサービス体制を確立してまいります。また、業務のアウトソーシング化に関連する成長分野への重点投資と品質保証を一層強化するとともに、無線自動認識(RFID)を中心とした新分野の開発強化と製造体制の整備につとめてまいります。

環境問題への対応につきましては、環境マネジメントシステム(EMS)の運用を徹底するとともに、環境にやさしい素材開発や機能研究をおこない、引き続き環境保全に貢献してまいります。

また、個人情報保護への対応につきましては、全社での「プライバシーマーク」の認証取得と、個人情報管理体制の再点検および見直しにより、一層の強化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

代表取締役社長

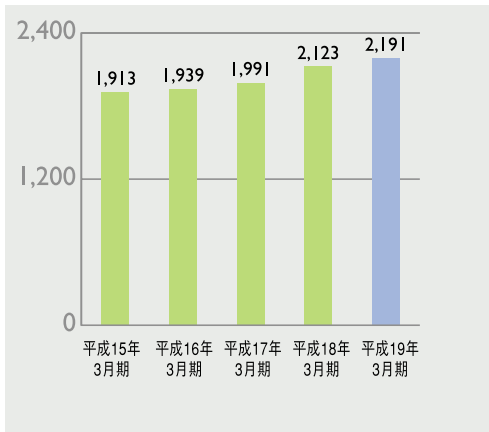
秋山正法

2期連続で増収増益を達成いたしました。

## 連結

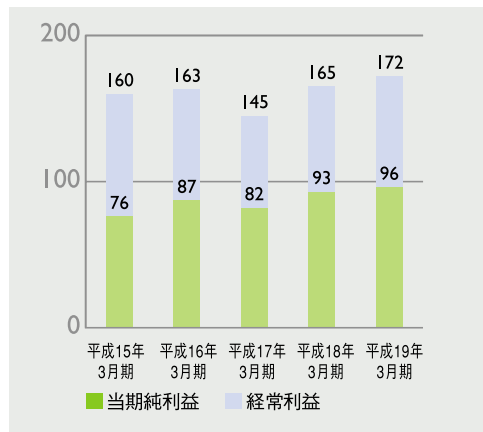
### 売上高

(単位：億円)



### 経常利益および当期純利益

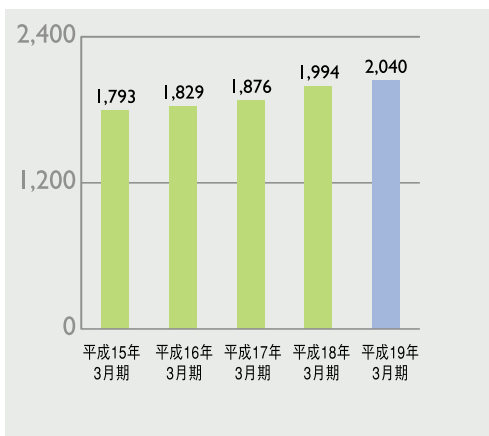
(単位：億円)



## 単体

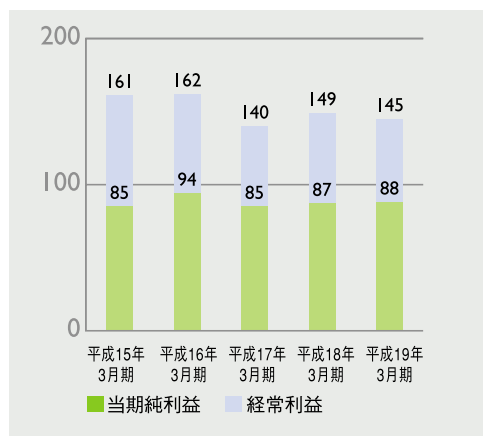
### 売上高

(単位：億円)

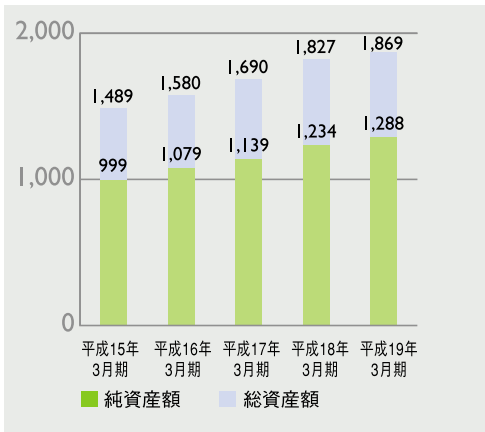


### 経常利益および当期純利益

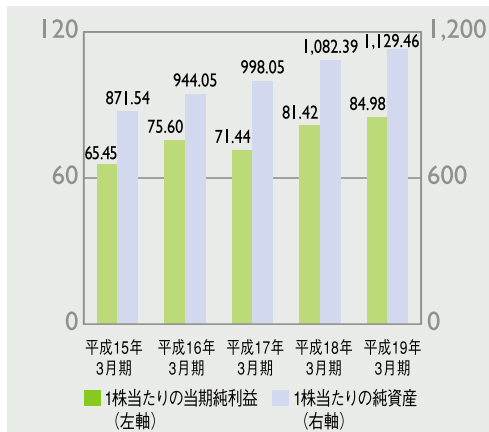
(単位：億円)



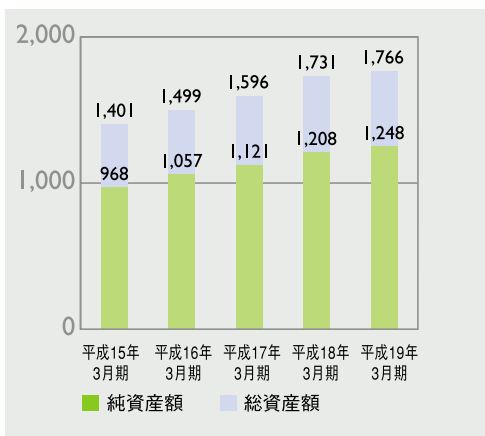
総資産額および純資産額  
(単位：億円)



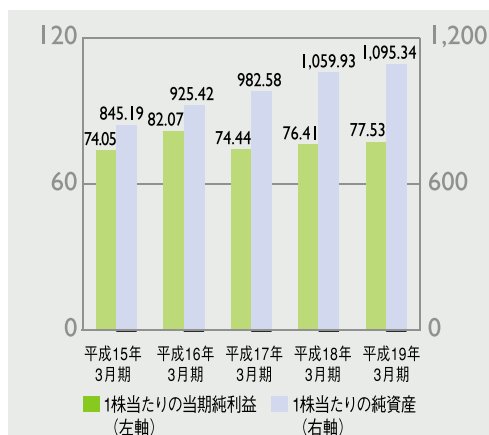
1株当たりの当期純利益および純資産  
(単位：円)



総資産額および純資産額  
(単位：億円)



1株当たりの当期純利益および純資産  
(単位：円)



## 印刷事業

ビジネスフォームでは、環境保護や個人情報保護関連フォームの拡販につとめましたが、IT化による需要量の減少や価格下落により前年を下回りました。

DPSでは、金融業界をはじめとした個人情報取扱業務のアウトソーシング化の進行や、パーソナルなフルカラーダイレクトメールなどの寄与もあり、好調に推移いたしました。

電子メディア関連では、個人認証用ICカードや電子文書運用システムの拡販などにより好調な伸びとなりました。

以上の結果、印刷事業全体では堅調に推移いたしました。

## その他事業

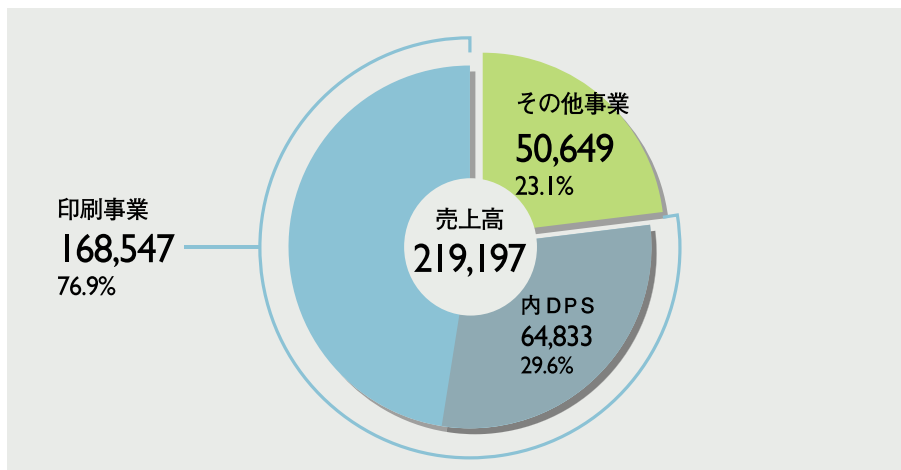
サプライ品は、オフィス用品の品揃えを充実し積極的に拡販いたしました。プリンター消耗品を中心に価格競争が激化し、微増にとどまりました。

また、事務機器関連等につきましては、公金収納事務を合理化する開発機の受注増などにより、好調に推移いたしました。

業務運用管理受託事業は、システム統合や新システム導入の増加などにより堅調に推移いたしました。

以上の結果、その他事業全体は順調に推移いたしました。

売上高部門別構成比  
(単位:百万円)



## 印刷事業

売上高**1,685億円**(前期比**2.4%増**)

連続フォーム、シートフォーム、応用用紙、統一伝票、封筒、カタログ、パンフレット、チラシ、カード、IC関連製品、電子メディア関連業務(電子ドキュメント、ウェブシステム等)の受託、データ・プリント・サービス(DPS)、情報処理システムの開発受託、情報処理・情報発信の処理受託、デジタル・プリントオンデマンド(DOD)など



耐水POSTEX(隠ぺいはがき)-ECO.



EXフォーム(擬似接着1パーツ物流ラベル)



フルカラーパーソナルメール



メールワン・マルチ



各種カード



ICタグおよびICラベル

## その他事業

売上高**506億円**(前期比**6.1%増**)

フォーム処理機・事務機器、システム機器、カード機器、紙製品(PPC用紙、タック紙・ラベル、デザインストック製品)、各種プリンター用サプライ、各種磁気メディア、設備・備品、情報処理に関するシステム設計・開発、プログラミング、オペレーションなど



隠ぺいはがき製作機



フォーム断裁機



データメディア

OA用紙



ノベルティ

トナー

## 連結決算報告

連結貸借対照表(単位:百万円)

	平成19年3月期 平成19年3月31日現在	平成18年3月期 平成18年3月31日現在		平成19年3月期 平成19年3月31日現在	平成18年3月期 平成18年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>96,355</b>	<b>94,933</b>	<b>流動負債</b>	<b>53,317</b>	<b>52,672</b>
現金及び預金	31,343	31,766	支払手形及び買掛金	34,565	34,703
受取手形及び売掛金	43,039	40,188	短期借入金	743	691
有価証券	3,447	3,440	一年内返済予定長期借入金	100	—
たな卸資産	13,715	14,203	未払法人税等	2,948	4,038
前払費用	1,218	1,228	未払消費税等	412	520
繰延税金資産	2,038	2,341	未払費用	3,759	3,614
その他	1,700	1,923	賞与引当金	3,625	3,729
貸倒引当金	△148	△157	設備支払手形	3,130	1,516
			その他	4,032	3,858
<b>固定資産</b>	<b>90,547</b>	<b>87,771</b>	<b>固定負債</b>	<b>4,709</b>	<b>6,497</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>63,011</b>	<b>58,264</b>	長期借入金	—	100
建物及び構築物	25,623	23,367	退職給付引当金	2,597	3,172
機械装置及び運搬具	14,332	14,136	役員退職慰労引当金	593	617
工具器具備品	1,624	1,518	繰延税金負債	1,394	2,499
土地	20,580	18,488	その他	124	107
建設仮勘定	850	753			
<b>無形固定資産</b>	<b>2,044</b>	<b>1,440</b>	<b>負債合計</b>	<b>58,026</b>	<b>59,170</b>
借地権その他	2,044	1,440			
<b>投資その他の資産</b>	<b>25,492</b>	<b>28,065</b>	<b>純資産の部</b>		
投資有価証券	16,715	19,651	<b>株主資本</b>	<b>125,284</b>	—
長期貸付金	17	6	資本金	11,750	—
長期前払費用	489	314	資本剰余金	9,270	—
敷金・保証金	2,289	2,318	利益剰余金	105,945	—
保険積立金	4,313	4,107	自己株式	△1,680	—
繰延税金資産	712	824	<b>評価・換算差額等</b>	<b>3,454</b>	—
その他	1,060	915	その他有価証券評価差額金	3,541	—
貸倒引当金	△107	△73	為替換算調整勘定	△86	—
			<b>新株予約権</b>	<b>31</b>	—
			<b>少数株主持分</b>	<b>104</b>	—
			<b>純資産合計</b>	<b>128,875</b>	—
			<b>少数株主持分</b>	—	<b>108</b>
			<b>資本の部</b>		
			資本金	—	11,750
			資本剰余金	—	9,270
			利益剰余金	—	99,187
			株式等評価差額金	—	5,562
			為替換算調整勘定	—	△567
			自己株式	—	△1,776
			<b>資本合計</b>	—	<b>123,426</b>
<b>資産合計</b>	<b>186,902</b>	<b>182,704</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>186,902</b>	<b>182,704</b>



連結損益計算書(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

	平成19年3月期 平成18年4月1日～ 平成19年3月31日	平成18年3月期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日		平成19年3月期 平成18年4月1日～ 平成19年3月31日	平成18年3月期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日
売上高	219,197	212,326	I.営業活動によるキャッシュ・フロー	10,624	13,318
営業費用			II.投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,246	△5,457
売上原価	167,080	160,437	III.財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,804	△4,074
販売費及び一般管理費	36,029	36,172	IV.現金及び現金同等物に 係る換算差額	11	27
営業利益	16,087	15,716	V.現金及び現金同等物の 増加額(△減少額)	△415	3,814
営業外収益	1,332	1,027	VI.現金及び現金同等物の 期首残高	35,206	31,391
営業外費用	153	174	VII.現金及び現金同等物の 期末残高	34,791	35,206
経常利益	17,267	16,569			
特別利益	269	134			
特別損失	789	462			
税金等調整前当期純利益	16,746	16,240			
法人税、住民税及び事業税	6,370	7,326			
法人税等調整額	692	△483			
少数株主利益	1	5			
<b>当期純利益</b>	<b>9,683</b>	<b>9,391</b>			

連結株主資本等変動計算書(平成18年4月1日～平成19年3月31日)(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株 予約権	少数 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・ 換算 差額等 合計			
平成18年3月31日残高	11,750	9,270	99,187	△1,776	118,431	5,562	△567	4,995	—	108	123,534
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当(注)			△1,424		△1,424						△1,424
剰余金の配当			△1,367		△1,367						△1,367
当期純利益			9,683		9,683						9,683
自己株式の処分			△20	95	75						75
役員賞与(注)			△114		△114						△114
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						△2,021	480	△1,540	31	△3	△1,512
連結会計年度中の変動額合計	—	—	6,757	95	6,853	△2,021	480	△1,540	31	△3	5,341
平成19年3月31日残高	11,750	9,270	105,945	△1,680	125,284	3,541	△86	3,454	31	104	128,875

(注)平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

## 単体決算報告

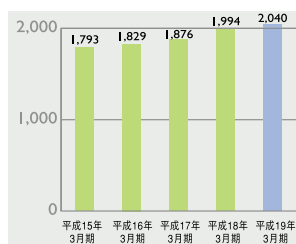
貸借対照表(単位:百万円)

	第53期 平成19年3月31日現在	第52期 平成18年3月31日現在	第53期 平成19年3月31日現在	第52期 平成18年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>88,555</b>	<b>87,971</b>	<b>流動負債</b>	<b>49,271</b>
現金及び預金	28,818	29,281	支払手形	7,832
受取手形	5,306	5,883	買掛金	30,323
売掛金	35,058	32,290	未払金	2,001
有価証券	3,447	3,440	未払法人税等	2,351
商品	1,865	2,222	未払消費税等	53
製品及び仕掛品	7,586	7,627	未払費用	1,995
原材料及び貯蔵品	1,060	1,065	前受金	234
前払費用	582	644	預り金	96
前渡金	—	29	賞与引当金	1,640
未収入金	2,055	1,949	設備関係支払手形	2,565
繰延税金資産	996	1,051	その他の流動負債	177
その他の流動資産	1,920	2,524		
貸倒引当金	△142	△40	<b>固定負債</b>	<b>2,511</b>
<b>固定資産</b>	<b>88,108</b>	<b>85,170</b>	役員退職慰労引当金	467
<b>有形固定資産</b>	<b>60,778</b>	<b>55,990</b>	退職給付引当金	994
建物	23,856	21,679	繰延税金負債	1,049
構築物	405	304		
機械装置	13,615	13,408	<b>負債合計</b>	<b>51,782</b>
車輛運搬具	28	30		
工具器具備品	1,515	1,407	<b>純資産の部</b>	
土地	20,506	18,407	株主資本	121,309
建設仮勘定	849	753	資本金	11,750
<b>無形固定資産</b>	<b>1,849</b>	<b>1,360</b>	資本剰余金	9,270
特許権	11	14	資本準備金	9,270
借地権	695	695	利益剰余金	101,970
ソフトウェア	1,022	530	利益準備金	2,619
電話施設利用権	118	119	その他利益剰余金	99,350
工業用水道施設利用権	2	0	別途積立金	90,195
<b>投資その他の資産</b>	<b>25,480</b>	<b>27,819</b>	繰越利益剰余金	9,155
投資有価証券	15,552	18,768	自己株式	△1,680
関係会社株式	2,739	2,289	評価・換算差額等	3,540
出資金	10	30	その他有価証券評価差額金	3,540
長期前払費用	473	297	新株予約権	31
敷金・保証金	1,500	1,552		
保険積立金	4,313	4,107	<b>純資産合計</b>	<b>124,881</b>
その他	997	845		
貸倒引当金	△107	△73	<b>資本の部</b>	
<b>資産合計</b>	<b>176,664</b>	<b>173,142</b>	資本金	—
			資本剰余金	—
			資本準備金	—
			利益剰余金	—
			利益準備金	—
			任意積立金	—
			別途積立金	—
			当期末処分利益	—
			株式等評価差額金	—
			自己株式	—
			<b>資本合計</b>	<b>—</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>176,664</b>
				<b>173,142</b>

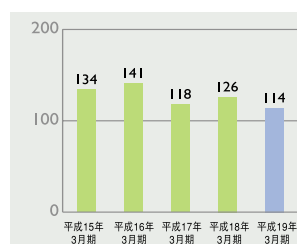
## 損益計算書(単位:百万円)

	第53期 平成18年4月1日～ 平成19年3月31日	第52期 平成17年4月1日～ 平成18年3月31日
売上高	204,058	199,402
営業費用		
売上原価	159,050	153,318
販売費及び一般管理費	33,542	33,445
営業利益	11,464	12,637
営業外収益	5,569	4,444
営業外費用	2,508	2,153
経常利益	14,525	14,928
特別利益	231	126
特別損失	676	721
税引前当期純利益	14,080	14,333
法人税、住民税及び事業税	5,000	5,747
法人税等調整額	246	△179
当期純利益	8,834	8,765

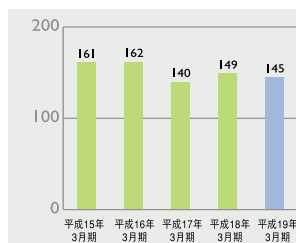
## 売上高(単位:億円)



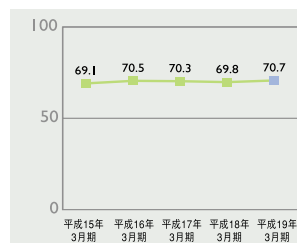
## 営業利益(単位:億円)



## 経常利益(単位:億円)



## 自己資本比率(単位:%)



## 株主資本等変動計算書 当期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計	
	資本剰余金			利益剰余金					自己 株式	株主 資本 合計	その他 有益証券 評価差額金			評価・換算 差額等 合計
	資本金	資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他の利益剰余金 別途 積立金	繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計							
平成18年3月31日残高	11,750	9,270	9,270	2,619	84,195	9,192	96,007	△1,776	115,251	5,561	5,561	—	120,813	
事業年度中の変動額														
剰余金の配当(注)						△1,424	△1,424		△1,424				△1,424	
剰余金の配当						△1,367	△1,367		△1,367				△1,367	
当期純利益						8,834	8,834		8,834				8,834	
自己株式の処分						△20	△20	95	75				75	
役員賞与(注)						△60	△60		△60				△60	
別途積立金の積立(注)					6,000	△6,000	—		—				—	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										△2,021	△2,021	31	△1,989	
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	6,000	△37	5,962	95	6,058	△2,021	△2,021	31	4,068	
平成19年3月31日残高	11,750	9,270	9,270	2,619	90,195	9,155	101,970	△1,680	121,309	3,540	3,540	31	124,881	

(注)平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

## 直接ネットワークに接続できる「RFIDリーダーライター」

今までのRFIDを活用したシステム構築では、通常の業務ソフトだけではなく、リーダーライターの制御ソフトと、ネットワークに接続する箇所ごとにPCが必要でした。今回開発した「RFIDインテリジェントリーダーライター」は、CPUボードとリーダーライターモジュールのハード、デバイスドライバや組み込み系OSなどのソフトを一体化し、PC不要で低コストかつ短期間でのRFIDシステム構築を実現します。



た面(荷物に残る片)にカラー印刷を施すことにより、広告媒体としても利用できます。また、荷物への接着糊も低温度対応タイプを使用しているため、クール便にも通常便にも使用できます。

## ICタグを利用した重要文書管理パッケージ『Easy Checkout』

13.56MHz帯のICタグを利用した、重要文書の検索、貸出、返却、棚卸管理ができる、低価格で導入が非常に簡単なパッケージ『Easy Checkout(イージーチェックアウト)』を開発しました。『Easy Checkout』は、当社が得意とするICタグ、リーダーライターと、今まで個々の得意先のニーズに応じて開発したさまざまな管理アプリケーションの機能を厳選し、汎用化したソフトとを組み合わせるパッケージシステム化したものです。



## 新タイプの配送伝票「EX-2R」を開発

当社の「EXフォーム」は、配送伝票を大量に発行する得意先向けの、レーザープリンターや感熱プリンターで印字できる、擬似接着技術を応用した配送伝票です。今回開発した「EX-2R」は、高速プリント適性が大幅に向上し、はがし



## UHF帯ICラベルを用いた展示会 向け「来場者管理システム」

今までの展示会向け来場者管理システムは、バーコードや13.56MHz帯のICカード／ラベルが使われていました。そのため、来場者がIDカードを読み取り機に近接させなければ、入出場、各展示ブース、イベントへの参加などの記録を収集できませんでした。当社が開発した来場者管理システムは、長距離通信が可能なUHF帯のICラベルとロングレンジリーダーライターを使用し、IDカードをかざすことなく来場者の動線や各ブースでの滞留時間など、来場者フォローやイベントの効果確認に必要なデータ収集を可能にしました。



## カット紙封書専用 小型シーラー『プレッスル リッタ』

小型レーザープリンターの市場は、ITの進展と機器の低価格化により、急成長しています。また、情報セキュリティに対する関心も個人情報保護法の施行により高まっています。



このような背景のなか、小規模事業者や支店・営業所単位で導入できる、安価で省スペースの『プレッスル リッタ (PRESSLE LITTA)』を開発しました。事前にミシン目と感圧糊を塗布したA-4の用紙に、レーザープリンター出力後、当機器で処理すると簡単に封書形態に加工できます。

## コンビニ料金収納サービスの 要望に適応した、納税通知書の 製本・封入封緘機「MBI-Ⅱ」

コンビニエンスストアでの税金・保険料などの納付サービスは、収納率の向上と生活の多様化への対応を背景に一般化してきました。しかし、今まで製本していた複数月にまたがる納付書は、納付すべき期間を取り違えるといったトラブルが懸念され、業界団体のルール標準化により、製本された納付書による支払いができなくなります。当社では、業界ルールに対応し、あて名、説明文書、納付明細までを糊綴じし、納付書は製本せずに名寄せ・封入封緘を一貫処理するシステム「マルチブックイングインサーターⅡ(MBI-Ⅱ)」を開発し、販売開始いたしました。



## 会社概要

平成19年3月31日現在

商号 トッパン・フォームズ株式会社  
 英文名 TOPPAN FORMS CO., LTD.  
 本店所在地 東京都港区東新橋一丁目7番3号  
 電話 (03)6253-6000 (ダイヤルイン案内)  
 設立 昭和30年5月2日  
 資本金 117億5,000万円  
 発行済株式総数 115,000,000株  
 従業員数 2,215名

## 当社の主要な事業所および工場

平成19年3月31日現在

本社 東京都港区東新橋一丁目7番3号

事業所

- 営業統括本部 (東京都港区)
- 製造統括本部 (東京都福生市)
- 東日本事業部 (仙台市宮城野区)
- 中部事業部 (名古屋市中区)
- 関西事業部 (大阪市西区)
- 中四国事業部 (広島市南区)
- 西日本事業部 (福岡市博多区)
- 東京データセンター (東京都中央区)

工場

- 日野工場 (東京都日野市)
- 川本工場 (埼玉県深谷市)
- 福生工場 (東京都福生市)

研究所 中央研究所 (東京都八王子市)

## 役員

平成19年6月28日現在

取締役会長	福田 泰弘	取締役	足立 直樹
代表取締役社長	秋山 正法	取締役	元原 利文
取締役副社長	桜井 醜	取締役	加藤 栄司
取締役副社長	小山内 鏗爾	取締役	玉田 健治
専務取締役	杉 丈夫	取締役	森 茂孝
専務取締役	河野 通剛	常任監査役(常勤)	山本 龍雄
専務取締役	岡田 弘人	監査役(常勤)	澤田 孝志
常務取締役	新田 健二	監査役	佐久間 国雄
常務取締役	大坪 尚義	監査役	外山 孟
常務取締役	宇高 恵一		

## 株主(上位10名)

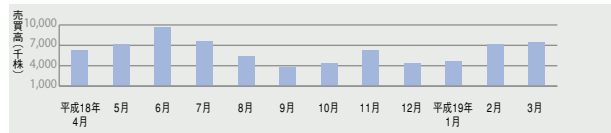
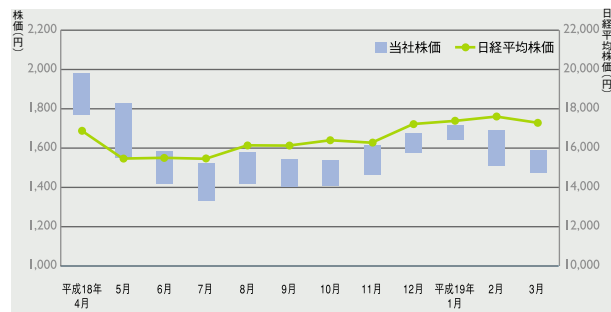
平成19年3月31日現在

株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	出資比率 (%)
凸版印刷株式会社	67,419	58.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,842	3.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,073	2.7
トッパンフォームズグループ従業員持株会	1,786	1.6
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,529	1.3
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・ インターナショナル・リミテッド	1,366	1.2
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,023	0.9
トッパン・フォームズ株式会社	1,016	0.9
メロンバンクエヌエーアズエージェントフォーイツツ クライアントメロンオムニバスユーエスベンション	1,015	0.9
エフジーシーエスエヌブイカムコエルピー プロフィットベンションプラン	1,000	0.9

## 株価の推移・株式分布状況

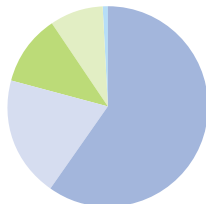
平成19年3月31日現在

### 株価の推移 (東京証券取引所)



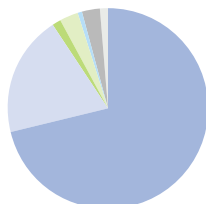
### 株式分布状況(所有者別) (%)

● その他法人	68,627,900株	(59.7%)
● 外国法人等	22,540,681株	(19.6%)
● 金融機関	12,930,600株	(11.2%)
● 個人・その他	9,925,246株	(8.6%)
● 証券会社	975,573株	(0.9%)



### 株式分布状況(所有株数別) (%)

● 100万株以上	81,543,192株	(70.9%)
● 10万株以上	21,178,853株	(18.4%)
● 5万株以上	2,585,074株	(2.3%)
● 1万株以上	2,973,378株	(2.6%)
● 5千株以上	1,135,513株	(1.0%)
● 1千株以上	3,827,550株	(3.3%)
● 1千株未満	1,756,440株	(1.5%)



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月		
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金	3月31日	
	中間配当を行う場合	9月30日	
	その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。		

電子公告により、当社ホームページ(<http://www.toppan-f.co.jp/>)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

証券コード	7862
株式名義書換	1. 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	2. 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 【連絡先】〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120)232-711(フリーダイヤル)

〈下記の用紙をご請求される方へ〉

株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479をご利用ください。  
24時間承っております。  
\*住所等変更届用紙 \*単元未満株式買取請求書用紙  
\*配当金振込指定書用紙(銀行・郵便局)

### 3. 同取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

1単元の株式の数 100株

上場証券取引所 東京



トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号  
<http://www.toppan-f.co.jp/>

古紙配合率70%再生紙を使用しています